

日立埠頭株式会社

[法人の概要]

平成26年7月1日現在

代表者名	取締役社長 加子 茂(常勤)	県所管部課	土木部港湾課	
所在地	日立市久慈町1-3-10	電話番号	0294-53-4111	
ホームページURL	http://www.hitachi-futo.co.jp	E-mailアドレス		
資本金(基本財産)	270,500	千円	設立年月日	昭和34年8月14日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	株式会社日立製作所	88,600	32.8%
	2	日立市	46,700	17.3%
	3	茨城県	33,200	12.3%
	4	株式会社茨城ポートオーソリティ	13,500	5.0%
	5	株式会社日立物流	12,000	4.4%
その他	12団体		76,500	28.3%
設立目的	当社は、昭和34年に日立港第1埠頭供用開始に合わせ、日立港における港湾運送事業及び関連事業を目的に設立。その後、平成元年に国際情勢の大きな変動や国内での高水準の設備投資と活発な個人消費による需要主導型経済の拡大に対応するため、茨城県・日立市からの支援体制を強化し、第三セクターとしての基盤を確立するため増資し現在に至る。			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	内容	
事業1	一般港湾運送事業	2,510,570	3,205,061	2,669,298	港湾における荷役作業
	全体事業に占める割合	44.0%	45.6%	39.4%	
事業2	一般貨物自動車運送事業	1,495,260	1,609,231	1,722,948	生乳輸送 外
	全体事業に占める割合	26.2%	22.9%	25.4%	
事業3	倉庫業	1,305,869	1,585,996	1,496,201	輸出入貨物等の保管
	全体事業に占める割合	22.9%	22.6%	22.1%	
その他事業	事業1~3以外	396,201	630,637	884,621	通関業、海運仲立業 外
	全体事業に占める割合	6.9%	9.0%	13.1%	
全体事業		5,707,900	7,030,925	6,773,068	指定管理者
	全体割合	100.0%	100.0%	100.0%	

< 日立埠頭株式会社 から県民のみなさまへ >

私たちは「環境にやさしい総合物流サービス」をスローガンに、地球温暖化ガス(CO2)の排出量の少ない物流輸送手段である海上輸送への「モーダルシフト(陸上輸送から海上輸送への転換)」をお客様に提案しております。

全社員が和協一致・基本と正道の精神のもと、総合物流サービス事業者として誠意をもってお客様に応え、積極進取の気概を奮って健全な事業経営を追求すると共に、自らの公共的使命を自覚して茨城港日立港区・常陸那珂港区の発展に寄与し「日本一綺麗で、安全な港」を目指します。

また、地域社会の一員であることを深く認識し、公正且つクリーンな企業活動に徹し、社会に貢献いたします。

平成27年2月 取締役社長 加子 茂

区 分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	増減数	増減理由
損益の状況	売上高	5,707,900	7,030,925	6,773,068	△ 257,857	LNG基地建設対応作業減少
	売上原価	5,330,804	6,426,884	6,121,705	△ 305,179	同上
	売上総損益金額	377,096	604,041	651,363	47,322	
	販売費及び一般管理費	684,632	676,998	637,028	△ 39,970	
	うち役員人件費(原価計上分含む)	50,849	52,083	45,215	△ 6,868	
	うち職員人件費(原価計上分含む)	1,558,991	1,717,361	1,731,265	13,904	
	営業損益金額	△ 307,536	△ 72,957	14,335	87,292	
	営業外収益	106,202	259,076	55,930	△ 203,146	
	営業外費用	51,309	71,169	62,541	△ 8,628	
	経常損益金額	△ 252,643	114,950	7,724	△ 107,226	
	特別利益	52,896	0	0	0	
	特別損失	0	0	0	0	
	法人税・住民税・事業税	768,886	27,000	4,000	△ 23,000	
当期純損益金額	△ 968,633	87,950	3,724	△ 84,226		
貸借対照表	資産	3,334,888	3,609,238	3,351,009	△ 258,229	
	流動資産	2,157,621	2,581,774	2,454,065	△ 127,709	売上減に伴う売掛金残高減少
	固定資産	1,177,267	1,027,464	896,944	△ 130,520	減価償却による自然減
	繰延資産	0	0	0	0	
	負債	2,706,454	2,892,854	2,657,951	△ 234,903	
	流動負債	1,516,416	1,669,940	1,551,667	△ 118,273	買掛金残高の減少
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	1,190,038	1,222,914	1,106,284	△ 116,630	修繕引当金の払出
	うち長期借入金	300,000	300,000	300,000	0	
	純資産	628,434	716,384	693,058	△ 23,326	
資本金	270,500	270,500	270,500	0		
利益剰余金等	357,934	445,884	422,558	△ 23,326		
県財政関与状況	補助金	0	182,677	0	△ 182,677	
	委託料	0	0	0	0	
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出資金等)	0	0	0	0	
	合計	0	182,677	0	△ 182,677	
	財政的関与の割合(%)	0.0%	2.6%	0.0%	△ 2.6	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式等	平成23年度	平成24年度	平成25年度	増減P	備考
人件費比率	人件費/売上高	28.2%	25.2%	26.2%	1.1	
販売管理費比率	販売費・一般管理費/売上高	12.0%	9.6%	9.4%	△ 0.2	
自己資本利益率	当期利益/自己資本	-154.1%	12.3%	0.5%	△ 11.7	
総資産回転率	売上高/総資産	1.7	1.9	2.0	0.1	
売上高経常利益率	経常利益/売上高	-4.4%	1.6%	0.1%	△ 1.5	
流動比率	流動資産/流動負債	142.3%	154.6%	158.2%	3.6	
借入金比率	借入金残高/総資本	9.0%	8.3%	9.0%	0.6	

[組織]

7月1日現在の人数		平成24年			平成25年			平成26年			増減数	増減理由
		県派遣	県OB	合計	県派遣	県OB	合計	県派遣	県OB	合計		
役員	常勤理事・監事	4	0	0	3	0	0	1	0	0	△ 2	
	非常勤理事・監事	15	1	0	14	1	0	14	1	0	0	
	計	19	1	0	17	1	0	15	1	0	△ 2	
職員	管理職	78	0	0	70	0	0	80	0	0	10	
	一般職	134	0	0	135	0	0	128	0	0	△ 7	
	嘱託・臨時職員等	6			5			7			2	
	計	218	0	0	210	0	0	215	0	0	5	
当期	プロパー職員平均勤続年数	14.9年	常勤職員(嘱託・臨時職員を除く)の年齢構成	~20代	30代	40代	50代	60代	合計	平均年齢	常勤役員平均報酬(年額) 20,297.5千円	
			58	49	56	36	9	208	39.2歳	プロパー職員平均給与(年額) 6,680.1千円		

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	9	9	20	45%
計画性	8	19	20	95%
組織運営健全性	10	15	20	75%
効率性	11	16	20	80%
財務健全性	9	16	19	84%
合計	47	75	99	76%

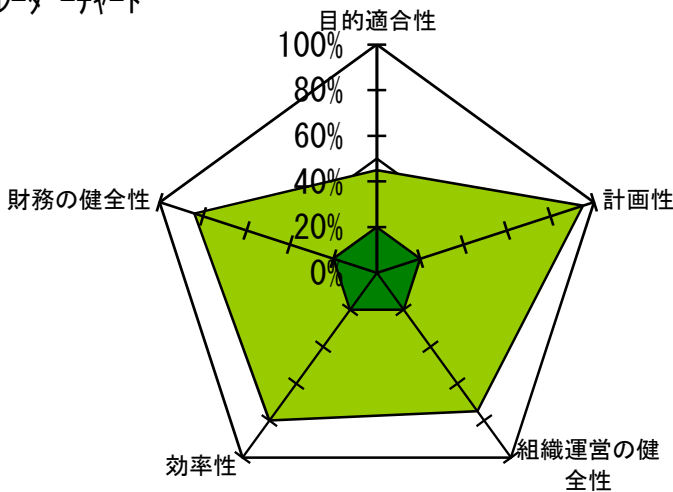
企業会計用

日立埠頭株式会社

警戒指標

--

経営評価
レーダーチャート



《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
<p>公共港湾の発展と当社の発展のため、設立趣旨を継続し、茨城港各港区の取扱貨物集荷に努め、ISO9001品質方針に基づき顧客確保・拡大を図り、国民生活の安定の下支えとしての公共的役割を果たしている。</p> <p>さらに、日立港区における自動車輸出入拠点としての機能の整備・拡充に注力していく。</p>	<p>中期経営計画に基づき年次計画策定・実践を図り、四半期ごとに年次計画とその実績を比較分析。併せて顧客ニーズの確認と満足度・不満足度の分析、確認を実施している。LNG基地建設計画を想定した事業運営計画を策定していく。</p>	<p>年次計画に基づき適正な人員(管理職・一般従業員)配置を継続するとともに、売上げの確保・拡大に努めていく。</p> <p>また、ISO9001業務手順書及び企業行動基準の遵守により内部統制の強化を継続していく。</p>	<p>社内組織の見直しと計画的な設備投資により業務効率の向上を図るとともに、業務改善活動を継続して推進していく。</p>	<p>業務の総点検及び冗費の支出抑制によるコスト削減の継続推進を実施し、利益率向上を図る。</p>
<p>今後の事業展開の方向</p>	<p>和協一致、基本と正道の精神のもと、総合物流サービス事業者として時代の求める環境に優しいモーダルシフトを展開し、誠意をもって顧客の要望に応え、積極進取の気概を奮って事業経営を追求する。</p> <p>さらに、公共港湾である茨城港日立港区・常陸那珂港区の発展と国民の安定生活の下支えの役割である公共的使命を自覚し、自社事業の発展と地域社会の発展に寄与していく。</p>			

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
茨城港日立港区及び常陸那珂港区の振興のため、貨物の集荷を推進し、港湾の利用拡大を図っている。	中期経営計画に基づき、年次計画の比較分析や顧客ニーズの把握に努めている。	中期経営計画に基づき、多様な人材の配置や研修を行い、ISO9001業務手順書等による健全な組織運営に努めている。	社内組織の見直し等に努め、収益性・採算性の更なる向上を図っていくことが必要である。	業務の総点検及びコスト削減の継続推進を実施し、引き続き財務の効率化を図る必要がある。
<p>法人担当課の意見</p> <p>東日本大震災からの港湾施設の復旧及び日立港区の荷役作業の増加等により良好な経営状況に戻りつつあるが、引き続き業務の総点検及びコスト削減を実施し財務の効率化を図る必要がある。今後とも、本県港湾において、総合的な物流サービスを提供し、港湾利用者のニーズに応じていくとともに、更なる促進に向けた集荷活動を行い、港湾の振興に寄与していくことが必要である。</p>				

[経営目標]

区分	指標名	単位	H23実績	H24実績	H25目標値	H25実績	達成度(%)	H26目標値	
経営目標	事業成果	1 売上高	億円	57	70	67	68	100.0%	70
		2							
	健全性	1 純資産	億円	6	7	7	7	100.0%	7
		2 自己資本比率	%	18.84	19.85%	19.06%	20.68%	100.0%	19.50%
	効率性	1 職員一人当たりの売上高	百万円	26	33	30	31	100.0%	32
		2							
平均目標達成度							100.0%		

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
総合的所見等	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	大いに改善を要する等	
	<p>荷役部門や倉庫部門、海運仲立部門は減収となったが、定期航路部門においては内航・外航ともに増収を確保した。また、荷役部門におけるLNG基地建設工事用資材のスポット対応がなくなったことから、売上高及び経常利益は、減収・減益となっているが、修繕費引当金の戻入等により、当期純利益は黒字を確保している。</p> <p>日立港区におけるLNG基地建設・第3埠頭埋立工事、また、常陸那珂港区における中央埠頭の延伸工事など、荷役作業等に対する制約は継続するが、更なる業績の回復・向上に努められたい。</p> <p>また、県所管課は、引き続き、保有株式について、計画的な譲渡を実施されたい。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>東日本大震災により経営状況は悪化したが、厳しい経営環境の中、当期純利益は2期連続で黒字を確保している。日立港区におけるLNG基地建設、第3埠頭埋立工事や常陸那珂港区における中央埠頭の延伸工事など、荷役作業等に対する制約は継続するが、今後も積極的な集荷活動を行うなど収益の確保に努め、日立港区、常陸那珂港区の利用促進に向けて取り組むよう指導していく。</p> <p>保有株式については、平成25年度に一部譲渡を行ったところであり、引き続き譲渡を進めていく。</p>				